

骨盤ケア・まるまる育児でこんなに違う ～3人の子育て真っ最中の母親・助産師として～

平松 道子先生 (京都府、出張専門開業助産師)

第1子妊娠時、切迫早産のため入院治療を受け、自宅でも安静にしていたにもかかわらず下肢浮腫は強度で、産後はさらに悪化。産後1ヶ月頃から臀部痛も感じるようになり、ふとしたことから浮腫も痛みも骨盤が関係していることを知った。

これをきっかけに「骨盤を診られるようになりたい」と骨盤ケアの勉強を開始。信子先生のブログ“魔女のひとりごと”や『骨盤メンテ』を読み、「私の症状の全ては骨盤の緩みからきていた！」と衝撃を受けた。第2子妊娠中はSNSや本を頼りに骨盤ケアに励み、産前休暇に入るまで働くことができた。見よう見まねでおひなまきもし、第1子との妊娠経過、育児の違いを実感した。

その後、トコ企画やトコ・カイロプラクティック学院のセミナーを受講し、産婦に試みた骨盤ケアの効果に驚嘆の日々を送る中、第3子を妊娠。初期から骨盤ケアに取り組み、快適な妊娠生活を過ごし、初めて3kg越えの児を出産できた。おひなまき・まるまる育児で育児に余裕ができただけでなく、我が子3人の体格・免疫力・定額・体の使い方の違いの大きさを目の当たりにし、今後の私の人生を考えさせられた。

「骨盤ケア・まるまる育児・子どもの発達の教室を開いて、自分自身の経験や学びを多くの人達に伝えたい。1人1人に丁寧にかかわりたい」。そんな思いから出張専門助産師として開業届けを提出し半年たった。1人でも多くの母子が笑顔で暮らせるようにと、今日も歩き回る私である。

